

ペド犯が法廷から釈放された後、線路上に首なし死体として見つかる

有名な子供虐待者が、6歳児を強姦の後、“厳密な法廷解釈”により釈放される

【訳者注】これは前の記事からの関連で読んでいただきたい。これによって、この犯罪に対する憎しみの深さがわかると同時に、驚くべきことに裁判所は——カトリック教会のように——ペド犯には寛容であるように見える。そのために自警団があるのだろう。この場合、被害女児は6歳だが、2、3歳ということも珍しくなく、それがこの時代の性犯罪の特徴である。元サタン教会ヘッドのザカリー・キングが言っていたように、殺して血をすすることが、ある場合も、ない場合もあるだろうが、これは明らかにサタン現象であって、普通、そんな欲望も犯罪も起こらない。

相手は人間であっても、これは明らかにサタンとの戦いである。では我々は、ここに描かれているような、リンチによる復讐をすれば済むことだろうか？ キングも言う通り、これは霊的戦いであって、物理的戦いではない。残酷な復讐であるほど、この世に修羅場を永続化させるだけで、解決にはならない。この特別の時代に生まれてきた我々の使命は、修羅場の繰り返しを終わらせ、世界を完全に生まれ変わらせることである。どうすればよいか？ それに気づかせようとして、我々の目の前で、耐えられないような犯罪や戦争が演じられる。我々が、どのような思い切った手段を取るかが、今、試されていると考えていいだろう。

Jay Greenberg, www.nnettle.com

November 8, 2017



テキサスのペドファイル
Anik Mustafi は、6歳児を強姦の後、法廷を釈放されて歩いていた

一人のペドファイルが、6歳児をレイプしたが、“厳密な法廷解釈”（technicality）により法廷から釈放され、歩いて帰る間に、鉄道線路上に死体で見つかった。

テキサス州ヒューストンの Anik Mustafi、34歳は、彼を鉄道線路に縛り付けて殺した、自警団グループによって、処刑されたものと考えられている。

彼の首なし死体は、土曜日早朝、貨物列車に轢かれた後、首を胴体から切り離された状態で、発見された。

列車の運転手は、人を轢いたと警察に知らせ、死体は「ちょうど曲がり角」にあったと説明し、線路上に何かがあるという自動警報を受けたのだが、「列車を止める時間がなかった」と言った。

ムスターフィは、5月に逮捕されたが、罪状は、子供に対する略奪的性的攻撃と一級性虐待であり、彼の隣人女性が、自分の6歳の娘に彼がいたずらをしている現場を発見したのだった。訴状によると、工場労働者ムスターフィは、数か月前から、この女の子を可愛がっており、車に誘い込んで襲ったのだった。

しかし、告訴のあと、ムスターフィは、法廷から解放されて歩いていた。裁判官は、この告訴は、34歳のこの男を有罪とする十分な証拠をもたないと、論争になりそうな裁定を下したのだった。

法科学室が、この訴訟が申し立てを証明するのに依存していた証拠を、“偶然の事故で焼失した”のだった。

裁判官は、被害者とされる者の家族に謝罪し、“我々の法システムの欠陥”によって、犯行者が「厳密な法廷解釈」を根拠に、釈放されることがあることを認めた。

被害者とされる者の家族は、ムスターフィが法廷から釈放され、自由に歩いていたことに、大きなショックを受けたと話した。

ギャング流の私刑

アニク・ムスターフィの自由は長くは続かなかった。

ヒューストンのペドファイル自警団は、問題を自分の手にあずかる決定をしたらしく、土曜日早朝に、この 34 歳の工場労働者を“誘拐”し、鉄道線路の、運転手が停止する時間が確実にならないと思われる、ある場所に彼を縛り付けた。

調査官たちは、この殺人場面を、「ギャング映画の私刑」に似ていると評した。

この地域のある住人は、この身の毛のよだつ発見について、鉄道線路に死体を見つけるとい
うのは、めったにないことだと言った。

「私はここに 35 年住んでいます。その間に、数件の鉄道自殺はあったが、こんなのは初めてだね。これはギャング映画で起こるようなことで、この辺で起ことではない。」

ヒューストン警察は、現在、“上からの支持を待っている”と言い、殺人の手配はまだしていないと言っている。

列車の運転手は、カウンセリングを受けるように勧められ、精神的な回復のための休暇を取るように言われたが、彼はそれを断り、こう言った：――

「今晚はぐっすり休めるでしょう」